

令和4年度 社会福祉法人萩市社会福祉事業団事業計画書

法人理念

私たちは、誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるような地域社会づくりを目指します

基本方針

- ・ 要介護状態にならないように介護予防の充実に努めます
- ・ もしも、要介護状態になったとしても、できるだけ地域で生活できるように在宅福祉サービスの充実に努めます
- ・ たとえ、施設に入所されてもできるだけ在宅での生活へ復帰できるよう、リハビリテーション等施設福祉サービスの充実に努めます
- ・ 常に新しいサービスのあり方を考え、創意工夫をし、ケアの向上に努めます
- ・ 高齢者や障害者が安心して暮らせるよう権利擁護に努めます
- ・ 地域との連携を図り、地域で支えあう仕組みを作ります



社会福祉法人 萩市社会福祉事業団

<http://hagi-kagayaki.or.jp/>

はじめに	3
令和4年度基本方針	4
1. 新型コロナウイルス対策について	4
2. 人材確保・人材定着に向けた取組み	5
3. 福祉・介護・医療人材の養成	5
4. 情報発信（市民に信頼され利用して頂けるサービスを目指して）	6
5. 地域における公益的な取組・地域貢献活動	7
6. 評議員会・理事会・評議員選任解任委員会の開催	9
7. 監査	9
8. 会議等の開催	9
9. 施設整備・大型設備・備品等の整備	10
10. 中・長期計画等	10
11. 事業所別事業計画（拠点単位）	12
萩・福祉複合施設かがやき拠点	12
福祉複合施設つばき拠点	14
在宅サポートセンターかがやき拠点	16
萩市中津江・福祉複合施設なごみ拠点	17
萩市無田ヶ原口・福祉複合施設おとずれ拠点	19
萩市須佐・福祉複合施設やまびこ拠点	21
萩市見島ふれあいセンター拠点	23

はじめに

(1) 新型コロナウイルスについて

令和3年8月から9月にかけて、全国的な第5波の影響により山口県では一部の指標がステージ4相当となり、山口県のデルタ株感染拡大防止集中対策期間も2度延長され、萩市内でもクラスターが発生するなど緊迫した状況が続きました。その後一旦は落ち着いたものの、令和4年1月以降、オミクロン株による第6波の影響で市内においても保育所・認知症高齢者グループホームといった福祉・介護施設においてクラスターが発生し、さらに2月には山口県全域が「まん延防止等重点措置」の対象地域になりました。

特に保育園のクラスターについては、親である職員や園児と同居の職員への影響も大きく、園児が濃厚接触者等となり、出勤停止を余儀なくされる職員も増え、施設運営に大きな影響を受けました。

事業団においては、クラスターには至りませんでしたが、2月には職員（厨房委託業者職員含む）6名、入所者1名の陽性が確認されており、これまで以上に感染対策を講じていく必要があります。

また、県内での感染拡大に伴い、市内有料老人ホーム入所者が外出禁止となった影響などもあり、通所介護事業をはじめ、利用実績の減など大きな影響を受けました。

(2) 介護人材確保の取組について

萩市の少子高齢化の進行に伴い、新卒者採用分は、平成31年0名、令和2年1名、令和3年2人名、令和4年1名と低調となっており、年齢枠を拡大し、採用後の資格取得・育成を前提とした若年層の無資格正規職員の募集も試みましたが、1名の採用・確保に留まりました。また、中途採用についても新聞折り込み広告などでの募集も行いましたが厳しい状況です。

このように新卒者採用、中途採用とも非常に厳しい状況となっていることも踏まえ、以前より長・中期計画に掲げている65歳定年制の導入を行い人材確保に努めることとしました。

(3) 利用者の減少傾向

萩市の人口構成の変化により、要介護度が高い利用者の減少、要介護度の低い方の増加が顕著に表れており、ホームヘルプサービス、デイサービス、居宅介護支援事業の利用の減少、これによる介護報酬の大幅な減額をもたらしています。

特別養護老人ホームでは、実質の待機者が10年前の数百名から50名を切るまでに減少しており、新型コロナウイルスの影響や市内・市外の有料老人ホーム等の新設の影響もあり、利用者確保はますます困難な状況になってくることが予想されています。

以上のような状況を踏まえ、社会福祉法人萩市社会福祉事業団では、令和4年度の事業計画を次のように策定します。

●令和4年度基本方針

利用者様の尊厳を大切にし、コロナ禍においても利用者様とご家族の絆を大切にします。

感染対策について、ご家族の協力を頂きながらQOLの維持向上を目指し、継続した福祉・介護サービスの提供に努めます。

1. 新型コロナウイルス対策について

(1) サービス提供等に関する基本方針

山口県より「新型コロナウイルス感染の懸念を理由に、感染者や濃厚接触者以外の利用者へのサービス提供を一方向的に断ることは、運営基準に定めるサービス提供拒否の禁止に抵触する可能性があります。」との通知が出されています。しかしながら、同居の家族などが県外を往来したことを理由に一律サービスの提供を中止とする事業所は少なくありません。萩市社会福祉事業団では、ご家族に感染対策を充分講じて頂くなど協力を頂きながら可能な限り必要なサービスが継続して利用出来るよう努めます。

また、市内社会福祉法人と連携した「新型コロナウイルスから利用者・家族・職員を守る共同宣言（令和2年10月14日）」に基づき、新型コロナウイルスに関する予防・感染拡大防止に取り組み、コロナ禍においても利用者の尊厳を大切にし、QOLの維持向上を目指した福祉・介護サービスの提供を行うとともに、万一、地域の方、利用者様、ご家族、職員が感染してしまった場合でも、誹謗中傷は絶対しないものとします。

コロナ禍においても、入所者にご家族の絆を大切にするため、特別養護老人ホームかがやき、ケアハウスつばき、グループホームなごみにおいて、市内で先駆的に実施してきた「テレビ面会システム」について、養護老人ホームつばき、救護施設つばき、生活支援ハウスにも順次導入し、事業団の入所系施設においてはすべてテレビ面会が出来るように検討します。

(2) 感染防止対策の徹底・情報公開

- ① 事業所における感染対策を徹底するとともに、市内、県内外の感染状況や県知事メッセージなどを踏まえ、職場以外での個人の感染予防を徹底します。
- ② ワクチンの接種について積極的に職員に情報提供を行い接種率の向上に努めます。
- ③ 感染防止対策に関する各種研修会に積極的に参加します。
- ④ 管理者会議などを必要に応じてテレビ会議とします。
- ⑤ マスク・消毒液などの感染対策に必要な消耗品の備蓄を適切に行います。
- ⑥ ホームページ・事業団防災メールなどを通じて対応状況を公表します。

2. 人材確保・人材定着に向けた取組み

(1) 人材確保

少子高齢化により新卒者の確保が大変難しくなっていることから、大学・短大・専門学生の採用は、国内最大の新卒者就職情報サイトである「マイナビ」の活用を図るとともに、高卒者の正規職員採用の実施や 65 歳までの定年延長・専門職等の必要に応じた再々雇用、他の法人を定年退職した有資格者・経験豊富な人材の新規雇用等、様々な方法により人材確保を図ります。

また、市内に福祉系大学があることを活かし、継続的に介護人材の確保が可能となるよう、至誠館大学と学生の介護施設でのアルバイトに関する協定（覚書）を締結しています。（事業団としては介護人材確保に繋がり、学生にとっては、介護福祉士受験資格にかかる実務経験の実績に繋がるなどの双方のメリットがあります。）

(2) 人材定着

法令等に基づく子育て・介護等への就業上の支援・配慮に加えて、法令等で定める期間終了後や要件に該当しない場合でも、子育て・介護等を理由に一定期間、夜勤等の勤務の一部を免除する法人独自の支援制度を設けています。

また、コロナ禍においても職員が安心して働くことが出来るよう、本人や家族が濃厚接触者となった場合の特別休暇制度を令和 3 年度に創設しました。

地域限定正規職員制度や施設限定正規職員制度など柔軟な雇用形態により、職員の処遇改善・人材定着を目指します。

3. 福祉・介護・医療人材の養成

(1) 介護福祉士実務者研修の開催

介護福祉士国家資格を働きながら取得するためには、実務経験 3 年に加え本研修の受講が義務付けられました。萩・長門圏域にはこの研修機関が無いことから国（県）の認可を受け開講します。受講対象者は、当法人の職員はもとより、萩圏域他法人・他施設の職員、一般市民も受講出来るものとします。

また、受講料金についても民間の研修機関より極力安価に設定します。

地域における公益的な取組（社会福祉法第 24 条第 2 項）

(2) 介護職員初任者研修（旧ヘルパー 2 級）の開催

無資格・未経験の方などが、介護職員として実際に働くために必要な基礎的な技術と知識を身に付けることを目的とするほか、家庭での介護等に役立てたいという市民ニーズにも対応し、圏域の介護サービス従事者だけでなく、一般市民も含めた、萩市全体の介護力の向上に寄与します。

また、受講料金についても、民間の研修機関より極力安価に設定します。

地域における公益的な取組（社会福祉法第24条第2項）

(3) 実習受託

- ① 介護職員初任者研修課程実習受託（萩光塩学院など）
- ② 社会福祉士実習受託（県立大学・至誠館大学大学など）
- ③ 介護福祉士実習受託（介護福祉士養成学校など）
- ④ 看護師実習受託（萩看護学校など）

(4) 職員資質・専門性の向上のための各種研修

- ① 新人内部研修
- ② 職能内部研修
- ③ 認知症研修
- ④ 各種外部研修
- ⑤ 社会福祉士・介護福祉士実習指導者の養成
- ⑥ 人権・モラル研修

4. 情報発信（市民に信頼され利用して頂けるサービスを目指して）

(1) デイサービス事業紹介の総合パンフレット

複数の通所介護事業所を運営しているメリットを生かし、介護予防、重介護、認知症など状態像に応じた施設ごとの特色あるサービスや住まいの地域に根ざしたサービス提供が可能であることを市民の皆様に改めて知って頂くため、総合パンフレットを作成し関係機関に配布するとともに、新聞折り込み広告で市内全域に配布します。

(2) ホームページ・ケアマネ新聞・つばき（ケアハウス）だより・なごみだよりなどの充実

5. 地域における公益的な取組・地域貢献活動

(1) 事業団のもつ機能・資源を地域に提供

- ① 介護福祉士実務者研修の開催
- ② 介護職員初任者研修（旧ヘルパー２級）の開催
- ③ 萩市須佐・福祉複合施設やまびこの生活支援ハウスを活用した宿泊サービス事業の実施
ショートステイ施設が不足している須佐・田万川地域において、生活支援ハウス運営事業や高齢者元気回復短期入所事業に支障のない範囲において地域の要介護者に対し実費相当の負担での宿泊サービス事業を実施します。
- ④ 養護老人ホームつばきでの短期入所事業（自主事業）の実施
養護老人ホームつばきのショートステイ居室（４床）を活用し、萩市生活支援ショートステイ事業の運営に支障のない範囲で、私的利用等による短期入所事業を実施します。
- ⑤ ボランティア研修会の開催、かがやき等のパワーリハビリテーションマシンの夜間の地域開放を行います。（コロナ禍の影響で中止中）
- ⑥ 施設の会議室等をボランティア団体等へ無償で貸し出します。（コロナ禍の影響で中止中）
- ⑦ 入院患者の転院等に際し必要に応じて市民病院に福祉車両を無償で貸し出します。
- ⑧ 高齢者等の生きがい活動支援として趣味グループ等の作品を展示出来るスペースを施設内に設けます。（かがやき）
- ⑨ 施設で保有する認知症高齢者の位置検索システム端末（GPS）を無償で貸し出します。
（ただし、システム利用に関する通信事業者への利用料は実費相当を負担。※施設で使用しない期間に限り貸出可）

(2) 障がい者の就労支援・障がい者福祉施設への支援等

- ① 法定雇用率の達成はもとより、障がい者職員が働きやすい環境整備に努めます。（やまぐち障がい者雇用推進企業認定）
- ② 外部委託業務において、障がい者施設への発注を優先的に検討します。
- ③ 障がい者職員を支援するため、法人内に障害者職業生活相談員を配置します。
- ④ 職員の手話学習を実施します。（萩市手話言語条例第５条における取り組み）

(3) 小中高校等の教育機関と連携による児童・生徒の健全育成支援

- ① 椿西小学校学校運営委員を選出し学校運営に協力します。
- ② 椿西小児童による作品の展示コーナーを設置します。（かがやき）
- ③ つばき祭り等で、椿西小学校と連携します。
- ④ 管内中高生の体験学習、職場体験等を積極的に受入れます。
- ⑤ 山口県教育応援団に登録します。

(4) 大学・専門学校・高校等との連携による社会福祉、介護・看護人材の育成

- ① 社会福祉士実習、介護福祉士実習、看護実習等を積極的に受け入れます。
- ② 社会福祉系大学と連携します。(山口県立大学、至誠館大学との包括連携協定の締結)
- ③ 高校生等に介護の仕事についての理解を深めてもらうため、職員を母校に派遣します。
- ④ 大学等からの要請に基づき、職員を非常勤講師として派遣します。

(5) 災害対応

- ① 災害時に福祉避難所として施設を提供します。(つばき)
- ② 災害時に緊急ショートを受入を行います。(かがやき、つばき)
- ③ 萩市との協定に基づき、萩市の災害対応に協力します。

(6) 保護観察中の社会貢献活動の受入及び累犯障がい者への理解の促進

- ① 法務局・保護司会・社会福祉協議会と連携し、保護観察中の人たちが地域社会に貢献する活動を行うことを通じて立ち直ることを目的とした社会貢献活動の場を提供します。
- ② 必要とする福祉の支援を受けてこなかった(受けられなかった)高齢者、障がい者が、帰る先を確保できないまま矯正施設を退所し、万引きや無銭飲食などの犯罪を繰り返してしまう「累犯障がい者」を司法と福祉が連携して支援する取り組みが始まっています。山口県地域生活定着支援センター等の研修会へ積極的に参加するなど、「累犯障がい者」への理解を深めます。

(7) 行政等関係機関への各種委員(専門職)の派遣(※要請があった場合)

- ① 萩市介護認定審査会委員
- ② 萩市障害者支援区分判定審査会委員
- ③ 萩市健康福祉推進協議会委員
- ④ 市民病院治験・臨床研究審査委員会委員
- ⑤ 萩市立椿西小学校学校運営委員

(8) 地域行事への積極的な参加・協力支援

- ① ヨイショコショ、萩七夕まつりへの参加
- ② 河川一斉清掃への参加(かがやき)
- ③ 地域行事、お祭りへの参加・協賛

(9) 市内社会福祉法人・行政との連携協力による地域貢献活動について

平成 28 年度の社会福祉法改正により社会福祉法人による「地域における公益的な取り組み」が義務付けられました。萩市社会福祉事業団においては、改正社会福祉法の一部施行に合わせ、「地域における公益的な取り組み」や地域貢献活動について介護職員初任者研修などを事業計画において位置づけを行い明確化したところです。

また、昨年度から萩市社会福祉協議会が中心となり、市内社会福祉法人が連携し、「協議会」を設立し、地域貢献活動を行うことの検討が始まりました。萩地域における介護人材確保やコロナ禍においても必要な介護サービスが継続かつ適切に受けられる体制づくりなどについては、事業団単独で対応出来るものではなく、行政を含め介護事業所等関係者の連携が不可欠と考えています。

「協議会」という枠組みにとらわれず、行政・関係機関と日常的な情報交換、課題共有を行うことで、萩市健康福祉計画に沿った萩市全体の介護・地域福祉の推進に寄与していきたいと考えています。

6. 評議員会、理事会、評議員選任・解任委員会の開催

① 評議員会の開催

・ 定時評議員会（決算・事業報告）・・・6 月開催（その他必要に応じて、臨時評議員会を開催）

② 理事会等の開催

・ 第 1 回理事会（決算・事業報告）・・・6 月開催予定

・ 第 2 回理事会（予算・事業計画）・・・3 月開催予定（その他必要に応じて、臨時理事会を開催）

③ 評議員選任・解任委員会等の開催

評議員選任・解任委員会・・・必要に応じて開催する

7. 監査

① 書面監査・・・年 2 回（12 月・5 月中旬開催）

② 決算監査・・・年 1 回（5 月中旬開催）

③ 外部監査・・・年 6 回（2 ヶ月ごと） 会計事務所に委託

8. 会議等の開催

① 管理者会議・・・年 12 回予定（状況に応じてテレビ会議とする）

② 事業所別職員会議・・・年 12 回予定

③ その他会議・各専門部会・・・随時

9. 施設整備、大型設備、備品等の整備

- | | |
|-----------------------------|----------|
| ① 介護・リハビリ機器（ベッド、入浴機器、平行棒外） | 約 300 万円 |
| ② A E D更新（みしま、なごみ、おとずれ、つばき） | 約 130 万円 |
| ③ サーバー | 約 160 万円 |
| ④ なごみ電機温水器更新（事業団負担） | 約 25 万円 |
| ⑤ 送迎用軽自動車（かがやき） | 約 120 万円 |
| ⑥ 指定管理施設維持管理負担金（萩市事業） | |

10. 中・長期計画等

(1) 萩・福祉複合施設かがやきの施設設備の老朽化対策について

平成 12 年 4 月に整備された「萩・福祉複合施設かがやき」については、令和 4 年 3 月末で 23 年が経過することとなり、主要躯体以外の屋根・壁、設備については、ほぼすべて耐用年数を経過しており、修繕修理が必要な状況で、一部設備については、修繕不能のため更新したものもあります。

令和 2 年度において、指定管理施設の修繕等にかかる萩市との負担ルールが定められました。今後は定められたルールに沿って修繕・更新を行うこととなりますが、萩・福祉複合施設かがやきは、大都市圏を除きあまり例のない 3 階建ての公立の大規模介護施設であり、2 基の大型エレベーター、災害時の事業継続を想定した大規模発電装置、大型空調システム、これを制御する電子機器（中央コントロール装置）等、市内の他の特別養護老人ホームにはない設備が多くあり、専門家を入れた施設全体を見通した更新・修繕計画の検討が必要です。

(2) その他の指定管理施設の老朽化対策（継続）

空調・給湯システムの故障については、利用者の処遇・健康管理に直接影響を及ぼします。特に夏場の冷房故障については、入所者の生命への危険にも繋がります。各施設とも経年劣化が進んでおり、毎年何らかの急遽の不具合が発生している状況です。

故障発生後、復旧までの応急対応措置の検討が必要です。（簡易冷暖房機器の事前準備など）

（※各施設の開設年度 見島：平成 8 年 なごみ：平成 17 年 おとずれ：平成 20 年 やまびこ：平成 9 年）

(3) 救護施設の定員減の検討（見直し）

生活保護施設である「救護施設つばき」については、平成 23 年に萩市の施設として老朽化した旧「萩市救護所」を国庫補助金の有効活用の観点から事業団が設置主体となり移転新築した経緯があるが、定員については、県内 6 箇所のための広域利用型

施設であること等を踏まえ、萩市の方針に基づき旧施設の定員 60 床を確保しています。

これまで、主に救護施設などの生活保護施設が担っていたセーフティネット対策や就労・自立支援について、障害者施設をはじめ、国の政策により様々な団体・施設・医療機関などの取組みが行なわれるようになってきたことから、県内 6 箇所すべての救護施設が定員割の状況であり、厳しい経営（定員割に伴う直接収入の減に加え各種加算が一定の入所率を割ると対象外となる）を強いられています。

しかしながら、救護施設はセーフティネットとして今後も重要な役割を担っていくため、コロナ禍などの影響も踏まえ、慎重な検討が必要です。

（4）省エネ・エコ対策（継続）

地球温暖化をはじめ、環境破壊や環境汚染が進行しています。事業団としても、省エネ・温暖化対策として、高効率給湯設備（エコキュート）、太陽光エネルギーの活用、電気自動車及びＬＥＤ照明など消費電力の少ない機器等の導入により省エネに取り組むこととします。

（5）内部監査機能の充実（継続）

平成 24 年度、令和元年度において介護報酬及び人員基準配置の解釈の間違いで多額の返戻を生じてしまいました。介護報酬及び人員基準配置の解釈をより深く読み解き、改正された法令に基づいて事業が遂行出来ているかチェックしなければなりません。事務局の強化を図り、内部監査機能を高めていきたいと考えています。

（6）人事管理、研修制度の充実（継続）

職員の専門性などキャリアアップを図るため、職員の研修体系の確立が必要とされています。人事管理システムの構築を図り、職員一人ひとりの研修履歴、資格等を把握し、職員の適正な評価が行われるよう、システムの構築を目指します。

11. 事業所別事業計画（拠点単位）

【萩・福祉複合施設かがやき拠点】萩市大字椿 3460 番地 2

▼萩市特別養護老人ホームかがやき

サービス/ 定員/利用 見 込	介護老人福祉施設 130 人 延利用見込 45,000 人/年 短期入所生活介護 20 人 延利用見込 5,500 人/年 ※介護予防短期入所生活介護含む
職 員 体 制	施設長 1 副施設長 2 相談員 3 介護支援専門員 2 看護師 10 人 リハビリ職員 1 介護職員（補助含）78 管理栄養士 2 清掃員 5
基 本 方 針	● （人権と意思の尊重）私たちは、あなたの人権と意思を尊重したサービスを提供します ・ 利用者様のプライバシーを守ります ・ 利用者様への虐待は絶対しません ・ 利用者様への身体拘束は絶対しません ● （潜在的生活機能の実現）私たちは、あなたが持つ力を充分に発揮できるよう支援し、自立した生活をめざします ● （地域との連携）私たちは、地域との結び付きを大切にし、その中であなたらしく暮らせるよう支援します
事 業 目 標	● 家族や地域との繋がりを大切にし、利用者の生活の質の向上と維持に努めます （重点目標） 1. 施設内感染ゼロを目指します 2. 介助中の事故ゼロを目指します 3. 生活環境の整備に努めます

▼萩市デイサービスセンターかがやき

サービス/ 定員/利用 見 込	通所介護・日常生活支援総合事業・介護予防事業・生活介護(障害福祉サービス) 定員 55 人 延利用見込 13,600 人/年
運 営 日 等	毎日 午前 9 時 30 分から午後 4 時 45 分

職 員 体 制	管理者 1(兼務) 相談員 3(内 2 兼務) リハビリ職員 1 看護師 3 介護職員 18(内 1 兼務) 栄養士 1(兼務) 技術員 (兼務 1) 清掃員 1
基 本 方 針	● 私たちは、笑顔で明るい雰囲気のあるデイサービスを目指します。 ● 私たちは、あなたの思いを大切にし、在宅生活で活かされる機能訓練を目指します。 ● 私たちは、あなたが楽しみを見つけることができ、また行きたいと思えるデイサービスを目指します。
事 業 目 標	● サービスの向上に努めます。 ● 職員の質の向上に努めます。

【福祉複合施設つばき拠点】萩市大字椿 2398 番地 1

▼救護施設つばき

サービス/ 定員/利用 見 込	救護施設（生活保護法）60 人 延利用見込 18,000 人/年
職 員 体 制	施設長 1（兼務） 相談員 2 看護師 2 介護職員 12 管理栄養士 1（兼務） 事務員 1（兼務）
基 本 方 針	● 私たちは、利用者の主体性を尊重し、その人なりの自立した生活ができるよう支援します。 ● 私たちは、利用者が主体的に環境美化に努め、安全で快適な生活が継続できるよう支援します。 ● 私たちは、家族や地域との関係を大切にし、地域の拠点施設となることを目指します。
事 業 目 標	● 様々な障害や生活課題を持つ利用者を受け入れ、ニーズに応じた支援を行います。 ● コロナ禍においても家族や地域との関係性の維持・構築を行うよう努めます。 ● 感染症の発生及び蔓延防止の強化について、さらなる職員の意識と実践力の向上に努めます。

▼養護老人ホームつばき

（外部サービス利用型指定特定施設入居者生活介護及び萩市ヘルパーステーションつばきを含む）

サービス/ 定員/利用 見 込	養護老人ホーム（外部サービス利用型指定特定施設入居者生活介護・訪問介護・日常生活支援総合事業） 50 人 延利用見込 17,000 人/年（※介護予防特定施設入居者生活介護含む） 萩市生活支援ショートステイ事業 4 人 延利用見込 70 人/年
職 員 体 制	施設長 1 相談員 1 看護師 2 介護職員 14 介護支援専門員 1（兼務） 管理栄養士 1（兼務） 事務員 1（兼務） 清掃員 1
基 本 方 針	● 私たちは、利用者ひとりひとりの権利が守られた生活が営まれるよう支援します。 ● 私たちは、利用者ひとりひとり主体的に生活できるよう利用者本位で支援します。 ● 私たちは、家族および親族・地域と利用者ひとりひとりのつながりを大切にする支援をします。
事 業 目 標	● 利用者の日常生活状況を重視し、利用者の希望に沿ったケアの実施を目指します。 1. 利用者の心身状況を把握し、その有する能力に応じた支援を実施します。 2. 職員の連携の強化と資質の向上を目指します。

▼ケアハウスつばき

サービス/ 定員/利用 見 込	軽費老人ホーム（ケアハウス）・特定施設入居者生活介護 50 人 ※介護予防特定施設入居者生活介護含む 延利用見込 17,600 人/年
職 員 体 制	施設長 1(兼務)・相談員 1・看護師 2・介護職員 16・介護支援専門員(兼務)・栄養士 1(兼務)・事務員 1(兼務)
基 本 方 針	● みんなが健康で生きがいをもてるように支援します。 ● 心と心がふれあう明るく楽しい暮らしができるように支援します。 ● 心豊かで安心感を持てるよう支援します。 ● 地域社会と活発に交流する開かれた住まいを提供します。
事 業 目 標	● 地域や家族との結びつきを大切にし、本人の自主性や意思の尊重と入居者の立場に立ったサービスの提供を行うよう努めます。 1. 生きがいある楽しい暮らしを支援しながら、活動を通して入居者の心身状態の維持を図る 2. 家族や地域との関わりを大切にしながら、感染状況に配慮した新しい生活様式を確立していく 3. 安定した施設運営職員の資質向上のための環境整備(感染対策)

【在宅サポートセンターかがやき拠点】萩市大字椿 2398 番地 1

▼萩市ヘルパーステーションかがやき

サービス/ 利用見込	訪問介護・日常生活支援総合事業・萩市生活支援ホームヘルプサービス事業・居宅介護（障害福祉サービス）・重度訪問 居宅介護（障害福祉サービス）・同行援護（障害福祉サービス）・行動援護（障害福祉サービス） 延利用見込 17,500 人/年
運営日等	毎日 24 時間体制
職員体制	管理者 1・サービス提供責任者 5・訪問介護員 26（サービス提供責任者兼務）
基本方針	●（人権と意思の尊重）私たちは、あなたの人権と意思を尊重したサービスを提供します。 ●（潜在的生活機能の実現化）私たちは、あなたが持つ力を十分に発揮できるよう支援し、在宅復帰を目指します。 ●（地域との連携）私たちは、地域との結び付きを大切にし、その中であなたらしく暮らせるよう支援します。
事業目標	● 介護を必要とする方の支援および在宅福祉の充実を図ります ● 職員の資質向上と専門性の確立に努めます ● 健全な経営基盤の確立を図ります

▼萩市指定居宅介護支援事業所かがやき

サービス/ 利用見込	居宅介護支援（居宅予防支援・介護予防マネジメント） 延利用見込 5,300 人/年
運営日等	月～金（祝日及び年末年始（12/29～1/3）を除く）午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分
職員体制	管理者 1（兼務）・介護支援専門員 10（管理者兼務）・事務員 1
基本方針	●（人権と意思の尊重）私たちは、あなたの人権と意思を尊重したサービスを提供します。 ●（潜在的生活機能の実現化）私たちは、あなたが持つ力を十分に発揮できるよう支援し、在宅復帰を目指します。 ●（地域との連携）私たちは、地域との結び付きを大切にし、その中であなたらしく暮らせるよう支援します。
事業目標	● 日常生活における満足感の向上と自己実現の創造に努めます。 ● 職員の資質向上と専門性の確立に努めます。 ● 接遇意識の向上により、利用者や関係機関に対して気持ちの良い対応をすることに努めます。

【萩市中津江・福祉複合施設なごみ拠点】萩市大字椿東 315 番地 6

▼萩市中津江デイサービスセンターなごみ

サービス/ 定員/利用 見 込	通所介護・日常生活支援総合事業・介護予防事業・生活介護(障害福祉サービス) 定員 40 人 延利用見込 9,000 人/年
運 営 日 等	毎日 午前 9 時 30 分から午後 4 時 45 分
職 員 体 制	管理者 1(兼務)・相談員 3(管理者、介護職員兼務)・看護師 3・介護職員 14
基 本 方 針	● 介護保険制度の趣旨に添って、利用者が可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう通所介護サービスを提供します。 ● 必要な日常生活上の介護及び機能訓練を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持ならびに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ります。 ● 認知症高齢者の生活に「ハリ」と「リズム」をつくり、精神的安定が図れるよう努めます。 ● ゆったりとした安全な環境をつくり住み慣れた地域で家庭生活を継続できるよう、また地域の方からも信頼されるよう努めます。
事 業 目 標	● 利用者のニーズに沿ったサービスの提供に努めます。 ● 職員の質向上と専門性の確立に努めます。

▼萩市中津江認知症高齢者グループホームなごみ

サービス/ 定員/利用 見 込	認知症対応型共同生活介護（介護予防認知症対応型共同生活介護・短期利用共同生活介護） 定員 18 人 延利用見込 6400 人/年
職 員 体 制	管理者 1(兼務)・介護職員 16（管理者を含む）
基 本 方 針	● 私たちは、あなたの意志を尊重し、自由な生活を支援します。 ● 私たちは、プライバシーを守り、安心できる生活を支援します。 ● 私たちは、あなたが役割を持ち、生き甲斐のある生活が送れるよう支援します。 ● 私たちは、あなたが地域住民との交流を持ち、地域の一員として生活出来るよう支援します。
事 業 目 標	● 安心・安全な生活の推進 ● 生き甲斐のある毎日の支援 ● 職員の資質の向上

【萩市無田ケ原口・福祉複合施設おとずれ拠点】萩市大字椿東 3143-1

▼萩市無田ケ原口デイサービスセンターおとずれ

サービス/ 定員/利用 見 込	通所介護・日常生活支援総合事業・介護予防事業 定員 40 人 延利用見込 6,800 人/年
運 営 日 等	月～金（祝日及び年末年始（12/29～1/3）を除く）午前 9 時 30 分から午後 4 時 45 分
職 員 体 制	管理者 1（兼務）・相談員 2（内 1 名兼務）・看護師 2・リハビリ職員 1・介護職員 8
基本的な処 遇 方 針	● あなたの「生きがい」を知り、その「生きがい」を共有しながら楽しみのある時間を提供します。 ● あなたを理解し、安全で安心して過ごすことのできる環境を提供します。 ● 私たちは、思いやりの気持ちを大切にし、真心を込めた丁寧な対応を行います。
事 業 目 標	● 利用者のニーズに応じたサービスの展開を図ります。 ● 利用者処遇の向上に努めます。 ● 職員資質の向上と専門性の確立を行います。

▼萩市無田ケ原口高齢者生活支援ハウスおとずれ

サービス/ 定 員	高齢者生活支援ハウス 定員 11 人
職 員 体 制	生活支援員 3（兼務）
基本的な処 遇 方 針	● あなたの「生きがい」を知り、その「生きがい」を共有しながら楽しみのある時間を提供します。 ● あなたを理解し、安全で安心して過ごすことのできる環境を提供します。 ● 私たちは、思いやりの気持ちを大切にし、真心を込めた丁寧な対応を行います。
事 業 目 標	● 利用者のニーズに応じたサービスの展開を図ります。 ● 安心安全な生活環境の維持に努めます。 ● 職員資質の向上に努めます。

▼高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業（無田ヶ原口・中津江・山田）

サ ー ビ ス	シルバーハウジング生活援助員派遣事業（訪問・電話による安否確認等を行う）
設 置 戸 数	無田ヶ原口(29戸)・中津江(31戸)・山田(30戸)
職 員 体 制	生活援助員 1

【萩市須佐・福祉複合施設やまびこ拠点】萩市弥富下 3998 番地

▼萩市須佐デイサービスセンターやまびこ

サービス/ 定員/利用 見 込	通所介護・日常生活支援総合事業・介護予防事業・生活介護(障害福祉サービス):定員 30 人 延利用見込 5,600 人/年
運 営 日 等	月～土(祝日及び年末年始(12/29～1/3)を除く)9時15分から午後4時30分
職 員 体 制	管理者1(兼務)・相談員2(兼務)・看護師2・介護職員9・調理員1
基本的な処 遇 方 針	● (活気と賑わい) 一日の利用時間内に利用者に満足していただける日程の仕組みを作ります。 ● (脳の活性化) 質の高いプログラムの構築を目指します。 ● (笑顔の創出)「遊び心」、「生きていてよかった」の演出に努めます。
事 業 目 標	● 運動と認知症予防に重点を置いたプログラムを構築します。 ● 職員の資質向上と専門性の確保を図ります。 ● 健全経営を行います。

▼萩市須佐デイサービスセンターやまびこ(田万川うたたね出張所) 萩市大字上田万 2678 番地

サービス/ 定員/利用 見 込	通所介護・日常生活支援総合事業 定員 10 人 延利用見込 1,500 人/年
運 営 日 等	火～日 午前9時15分から午後4時30分
職 員 体 制	管理者1(兼務)・相談員1(兼務)・看護師2・介護職員1 ※その他デイサービスやまびこより支援
基 本 方 針	● いっしょに・・・関係づくりのための関わりをします。 ● のんびり・・・利用者の気持ちを知り、形にしていく努力をします。 ● 地域のなかで・・・地域の行事に参加します。

▼萩市須佐高齢者生活支援ハウスやまびこ

サービス/ 定員/利用 見 込	高齢者生活支援ハウス（萩市高齢者元気回復短期入所事業） 定員 14 人
職 員 体 制	生活支援員 2(兼務 1)・調理員 1
基 本 方 針	● 利用者のニーズに応じたサービスの展開を図ります。 ● 安心安全な生活環境の維持に努めます。 ● 職員資質の向上に努めます。

▼萩市在宅介護支援センターやまびこ・うたたね

サ ー ビ ス	高齢者やその家族からの総合相談・高齢者の実態把握
担 当 地 区	やまびこ：上三原・堀田・帆柱・下三原上・下三原下・北谷・野頭・前地・高山・沖浦・弥富 1 区～13 区 うたたね：田万川全域
運 営 日 等	月～金（祝日及び年末年始（12/29～1/3）を除く）午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分 但し、緊急の相談については併設施設等の連携により 24 時間の対応を行う
職 員 体 制	相談員 2（各 1）
基 本 方 針	● （人権と意思の尊重）私たちは、あなたの人権と意思を尊重したサービスを提供します ● （潜在的生活機能の実現化）私たちは、あなたが持つ力を十分に発揮できるよう、在宅生活を支援します ● （地域との連携）私たちは、地域との結び付きを大切にし、その中であなたらしく暮らせるよう支援します
事 業 目 標	● 地域高齢者やその家族等の相談窓口として適切な対応・支援に努めます。 ● 地域高齢者の実態把握に努めます。 ● 職員の資質の向上と専門性の確立に努めます。

【萩市見島ふれあいセンター拠点】萩市見島 35-1

▼萩市デイサービスセンターみしま

サービス/ 定員/利用 見 込	地域密着型通所介護・日常生活支援総合事業・介護予防事業 定員 18 人 延利用見込 1,600 人/年
運 営 日 等	月～金（祝日及び年末年始（12/29～1/3）を除く）※但し 12/31 は営業 午前 9 時 15 分から午後 4 時 20 分
職 員 体 制	管理者 1（兼務）・相談員 1（兼務）・看護師 2・介護職員 3・調理員 1
基 本 方 針	● 地域福祉の拠点として見島地区の福祉向上に努めます。 ● 地域と密接し、開放された施設を目指します。 ● サービスの質の向上に努めます。
事 業 目 標	● 感染症対策を徹底した上で、利用者のニーズに合わせた介護サービスを提供。安心・満足に繋がるサービスに努め、質の向上を目指します。 ● 職員の資質向上と専門性の確立に努めます。

▼萩市高齢者生活支援ハウスみしま

サービス/ 定 員	高齢者生活支援ハウス・ショートステイ（要介護者）・生活支援ショート（自立・要支援者）事業
入 所 定 員	生活支援ハウス定員 10 人 内ショートステイ 2 人
職 員 体 制	生活支援員 1
基 本 方 針	● お互いに気を付け合い、励まし合い、助け合う生活の場を提供します。 ● 地域と密着した生活の場の提供し、孤立感の解消に努めます。 ● 緊急時の円滑な対応から安心して生活が送れるように支援します。

▼萩市在宅介護支援センターみしま

サ ー ビ ス	高齢者やその家族からの総合相談・高齢者の実態把握
担 当 地 区	見島
運営日及び 勤 務 時 間	月～金（祝日及び年末年始（12/29～1/3）を除く）午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分 但し、緊急の相談については併施設等との連携により 24 時間の対応を行う
職 員 体 制	相談員 1
事 業 目 標	● 地域高齢者やその家族等の相談窓口として適切な対応・支援に努めます。 ● 地域高齢者の実態把握に努めます。 職員の資質の向上と専門性の確立に努めます。